

# 令和3年度 山形総合支所長マニフェスト

山形総合支所長

蒲野 喜美男

## 【基本方針】

地域づくり活動の推進については、住民が自らの地域について考え、地元愛の醸成を図るとともに、主体的に取り組む地域づくり活動を支援します。

短角牛の振興については、山形村短角牛のブランド力向上のため、生産者を中心に関係機関と一体となり、安心安全な情報を発信し、増頭及び販売拡大を図ります。また、市指定無形民俗文化財である「いわて平庭高原闘牛（牛の角突き）」の発展継承に努め、後世に伝えていきます。

観光の振興については、日本一の白樺美林を有する平庭高原の環境整備を行うとともに、平庭高原、内間木洞などの観光資源を活用したイベントを開催し、誘客と地域の活性化に取り組めます。また、白樺の老木・倒木による美林の衰退・消滅の危機を受け、白樺林の維持・再生に積極的に取り組めます。

## 【重点目標】

### 1. 山形町の未来づくり計画「（仮称）やまがたビジョン」の策定に向けた委員会の開催

策定委員会を立ち上げ、令和3年3月に実施した山形町民へのアンケート結果等を活用しながら、ビジョン策定に向け委員会を開催します。

- ・委員会開催（0回→5回）【コロナ影響】

### 2. 市民団体が行う地域づくり活動に対する情報提供及び資金の支援

地元愛の醸成及び地域づくり活動の情報提供を行うとともに、主体的に取り組む地域や団体に対して、助成事業の紹介と活用を促し、地域づくり活動を支援します。

- ・地域コミュニティ振興事業  
（H30-R2平均実績7,688千円→R3目標10件、補助額10,000千円）【コロナ影響】
- ・地域づくりに係る支援事業の紹介及び相談・支援（R3目標3件）【コロナ影響】

### 3. 山形村短角牛のPRと販路開拓、闘牛文化の維持継承

安全安心な山形村短角牛の生産振興と積極的なPRを行い、販路開拓と消費拡大に努めるとともに、「生産者と消費者の顔の見える関係」の構築維持のため消費者等との交流事業を行います。

また、闘牛大会の開催による集客と更なる知名度の向上、闘牛文化の継承活動に取り組めます。

- ・ベコツアー参加者（R3目標45人）【コロナ影響】
- ・闘牛大会の開催（R3年は新型コロナウイルス感染症対策を万全にして開催）  
（R2実績：年1場所、来場者750人→R3目標：年4場所、年間来場者2,400人）  
【コロナ影響】

### 4. 平庭高原の整備による自然環境の適正管理と白樺林の再生

平庭高原環境整備ボランティア「くじ☆ラボ」の活動支援やイベントを開催し、平庭高原の白樺美林整備促進による適正な環境保全と観光客の誘客に繋がる活動に取り組めます。また、中長期的な白樺林の再生の取り組みとして、現況調査及び技術指針の策定に着手します。

- ・くじ☆ラボ延べ参加者（R3目標80人）【コロナ影響】
- ・白樺林の下草刈り（R2実績4回→R3目標4回）【コロナ影響】
- ・白樺の植樹（R2実績200本→R3目標200本）【コロナ影響】
- ・レンゲツツジの植樹（R2実績84本→R3目標100本）【コロナ影響】
- ・白樺林再生に係る現況調査及び技術指針の策定【コロナ影響】

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標